令和4年度 第2回岩美町男女共同参画審議会 議事録

- 1 日 時 令和5年3月23日（木）午前10時00分～午前11時00分
- 2 場 所 岩美町役場 2階 中会議室
- 3 出席者 出席委員7名 欠席委員4名
（委員） 山田 恭子（女性団体連絡協議会） 寺谷 さくら（女性団体連絡協議会） 山本 克美
（女性団体連絡協議会） 山根 みち子（女性団体連絡協議会） 田中 篤夫（自治会長
会） 日下部 衆理（地区公民館長会） 中沢 政春（公募）
（事務局） 次 長 出井 康恵（岩美町教育委員会事務局）
係 長 濱田 博之（ ” ）
廣田 哲子（ ” ）

4 概 要

1 開 会

委員総数11名のうち、本日の出席委員は7名で過半数に達しており、審議会は成立

2 あいさつ

山田会長からあいさつ

3 議 事

（1）いわみ虹色プランー岩美町男女共同参画計画ーに係る令和4年度事業実施状況について

（事務局から実施状況について説明）

●委 員 委員会等の女性の登用関係は防災関係の会議を見てもなかなか難しいところではあるが、市町村都市計画審議会を見ると女性が増えており、取り組んだ成果が出ているのではないかと思う。とは言っても全体で見ればまだまだ低いので、少しずつ女性の参加や登用を増やしていくように今後も取り組んでいただきたいと思う。

1点質問するが、町の男性の育休取得者が令和3年度に一人おられるようだが、取得期間はどれくらいだったか。短期間だったのか。今年度について、育休を取得している男性職員はいるのか。

○事 務 局 女性職員は年単位で取りますが、男性職員の場合は、取得していたとしても女性職員より期間は短いです。

●委員 国の方も育休中の賃金を100%補償するといった男性取得についてより推進されていくような流れになっていくので、男性が取得しやすい雰囲気づくりが必要である。特に役場が率先して取っていくような流れをつくることで起爆剤になると思うので頑張っていたきたい。

●会長 男女平等ですから、フィフティフィフティが大切ですし、取りたいのに取れないということがないようにしていかないとはいけませんね。

○事務局 女性の登用状況について、目標を40%以上としておりますが達成できていないのが現状です。しかし、改選時期や機会あるごとに担当の方が女性登用の周知などを行っておりますので、関係課の方も積極的な女性登用に取り組んでいただき少しずつですが目標に近づいていると思います。こういった活動を続けていく、声掛けをし続けるということに効果があり、今後にも必要な活動だと思っております。

また、教育委員会が関係しております文化財保護委員会の女性割合が20%と低い状況ですので、女性委員を増やせるよう努力してまいりたいと考えています。

●会長 それぞれの会で個々の能力が発揮できるかどうか、また、家庭の事情で活躍できないこともあると思います。全体の登用率では目標に少しずつ近づいていると思います。

●委員 文化財保護委員会は来月が改選のようだが、この時期になって女性委員を見つけるのは厳しいのではないかと。

○事務局 女性で文化財に精通していなくても、文化財に関することに興味があり参加してみたいという方も探しているところです。女性での絶対数が少ないという状況ではありますが、諦めずに探したいと思っております。

●委員 女性の登用については、徐々に改善されてきていると数字的には見える。歩みを止めないように啓発活動をあらゆる方面でもっと活発に行い、目標値を達成できるよう頑張っていたきたい。

(2) 岩美町男女共同参画に関する町民意識調査（いわみ虹色プラン中間年実施分）について

（事務局から審議会委員意見聴取の結果・今後の調査スケジュール等を説明）

●委員 アンケート内容は、前回調査と変わらないということですか。

○事務局 これまで実施してきました意識調査結果の数値を比較してきていますので、設問内容も同じにしておりますが、今年度調査票に追加しました問がございます、

14の男女共同参画に関する用語についてどの程度町民の方がご存知なのか認知度を把握するために新たに付け加えております。

●会長 その他何か質問等よろしいですか。

(委員全員がなし)

(3) その他

●委員 意識調査票の問14について、それぞれの用語に対する解説があるのがとても良い。我々の年代になると、横文字などの用語だけではわかりにくいことが多く、解説があることで用語自体はわからなくても、こういう意味なのかと知ることができるので良い設問だ。

●委員 女性登用率を上げていくのはいいことだが、これらの審議会・委員会の女性の方たちがどの程度会の中で発言されているのかが重要ではないかと思う。ただ名前を連ねているだけで良しとするのではなく、積極的な発言がなされてこそ参画している意味がある。統計をとるまでは難しいかもしれないが、そういうところも含めて考えていただければと思う。会に参加の女性を指名して意見を伺うなど会の進め方を工夫して、女性の意見を反映させていっていただきたい。また、会を活性化させるために関係課への周知もしていただきたい。

●会長 女性の方々も委員などに選ばれたならば、積極的に発言していくのがいいと思います。

●委員 男女問わず育休を年単位で取得しやすくすることはもちろん、企業・事業所雇用主に義務付けられている育休からの復帰職員への支援が大事である。職務内容や立場などどのように対応していくのか雇用側も必要な配慮や制度利用を提案し、復帰後も安心して子育てと仕事を両立し続けられるようにすることが求められる。

●委員 雰囲気やムードも大事で、もしあれば役場職員の情報紙などで育休取得者の体験談を紹介するといった情報発信をすれば育休を考えている人に役立つだろうし、取得を促すことにつながる。

●委員 消防対策審議会に委員として参加しているが、メンバーの男性委員は消防関係の方たちがほとんどで、会議の内容も専門的過ぎてわからない。そこが女性の委員が増えない一因となっているのではないかと思う。

●会長 しかし、防災こそ女性の視点が必要だと思います。

●委員 女性を登用して数字だけ高くなっていても中身が伴っていかなければ、何でも取り敢えず女性を入れればよいということではだめではないか。そして、会の内容が自分の承知していることならば意見は言いやすいが、専門的なことについて意見をと言われても難しいのではないかと思う。

●会長 そのほか何か質問等がありますか。

(委員全員がなし)

4 閉 会

以上をもって議事全ての審議を終了し、午前11時28分閉会した。